

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年9月11日

【評価実施概要】

事業所番号	4078400092
法人名	医療法人八女発心会
事業所名	グループホーム 舞風台
所在地 (電話番号)	福岡県八女郡広川町大字水原1498番地 (電話) 0943-32-3555
評価機関名	社団法人 福岡県介護福祉士会
所在地	福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F
訪問調査日	平成21年7月30日

【情報提供票より】(平成21年6月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日
ユニット数	3 ユニット
職員数	24 人
利用定員数計	27 人
常勤	20人, 非常勤 4人, 常勤換算 23.6人

(2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/>	改築 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/>
建物構造	RC 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,060 円	その他の経費(月額)	11,408 円	
敷金	有(円)	無 <input checked="" type="checkbox"/>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
食材料費	朝食	250 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4) 利用者の概要(6月18日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 83.96 歳	最低	79 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人合原会 合原医院、白谷歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは高台に位置しており、手を伸ばすと今にも空がつかめそうになる感じがして、周辺も自然豊かである。全館平屋造りとなっており、自由に散策できるよう周囲は芝生が一面に広がっている。各部屋の窓からは自然を何時も満喫できる工夫がされている。ホームの敷地内には介護老人保健施設が併設されており、何時でも行き来ができるようになっている。「舞風台」とは論語の一説にあやかり命名され、法人理念「安らぎ・思いやり・連帯」を基に「相手を尊重し、ゆっくり優しく丁寧な支援を行い、入居者と家族に安心と信頼を提供する」というホーム独自の理念を掲げており、管理者・職員は自身の両親と置き換え思いやり、愛情を持って利用者に接し、日々ケアの向上に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価での改善課題について、運営推進会議を通してホームを地域の避難場所として提供を行うことにしている。権利擁護に関する制度について、全職員への周知を行うため施設内勉強会を開催するなど取り組みをしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で作成し管理者が集約している。外部評価をすることで職員全員がよりよいホームとなるように活かしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	健康福祉課、区長、民生委員、保育園園長、利用者代表、利用者家族代表、ホーム管理者、介護支援専門員、法人事務長の出席のもと2ヶ月毎に運営推進会議を開催している。外部評価の報告や利用者状況報告を行っている。地域の方との交流を広めるため、地域の夏祭りに同一法人の看護職員による健康相談や、ホーム行事を町の広報に掲載するなど、地域の中のホームとしての活動に取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	面会時に職員からご家族へ声かけを行い意見や要望を聞いている。意見箱を設置し、定例会議で報告改善している。利用者の暮らしぶりや近況報告を面会時に行い、必要な場合には電話での連絡を行っている。職員へは申し送りノートを活用し周知されている。家族会は行われていないが、忘年会を開催しており意見の言える場所作りをし運営に反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、清掃活動や夏祭り、敬老会など地域の行事に参加している。ホームで行われる夏祭りは回覧板や地域のお店に掲示し案内している。近隣の保育園児や小学生、同一法人の専門学生をボランティアとして受け入れており利用者との交流を行っている。ホームは高台に位置しており近所の方は、朝散歩道として利用されるため敷地内にイスを準備し休憩されるなど地域の中のホームとして交流に努めている。

2. 調査結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念「安らぎ・思いやり・連帯」の理念を基に、ホーム独自に「相手を尊重し、ゆっくり優しく丁寧な支援を行い、入居者と家族に安心と信頼を提供する」という標語を掲げている。	○	地域との交流、関わりが行われているが、地域密着型サービスとしての理念をわかり易く表示していただきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム中央ダイルームに掲示し、毎朝の朝礼や月1回の定例会においても唱和している。管理者、職員は自身の両親と置き換え思いやり、愛情を持って接し日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、清掃活動や夏祭り、敬老会など地域の行事に参加している。高台に位置するホームであり休憩所として敷地内にイスが準備されている。近所の方は、朝散歩道として使用し休憩されている。ホームで行われる夏祭りは、回覧板や地域のお店に掲示案内をしている。近隣の保育園児や小学生、同一法人の専門学生をボランティアとして受け入れており利用者と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果をホールに掲示している。自己評価は職員全員で作成し、管理者が集約している。前回の外部評価の結果を受け運営推進会議を通してホームを地域の避難場所として提供、施設内研修で権利擁護に関する勉強会を行い全職員への周知するよう取り組みを行う等具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町の健康福祉課、区長、民生委員、保育園園長、利用者代表、利用者家族代表、ホーム管理者、介護支援専門員、法人事務長の出席のもと2ヶ月毎に運営推進会議を開催している。外部評価、利用者状況の報告を行っている。地域の方との交流を広めるため、地域の夏祭りに同一法人の看護職員による健康相談や、ホーム行事を町の広報に掲載するなど、地域の中のホームとしての活動に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者へ入居の相談や介護保険制度について、相談やアドバイスをもらい解決に至っている。ホーム行事を町の広報に掲載を依頼し事業所のサービス向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度についての研修を法人内でやっている。他に毎月虐待に関する勉強会を開催し、全職員への周知を行っている。現在制度を利用している利用者がある。パンフレットを準備し、必要な方へは活用できるよう支援している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや近況報告を面会時に行っている。金銭の出納状況や受診結果を毎月ホーム便りとともに報告している。利用者の急変時や受診の必要な場合は電話での連絡を行っている。職員の異動の際には面会時に報告をしている。外部評価の結果は郵送し報告している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は行われてないが、面会時に職員から声かけを行い意見や要望を聞いている。意見箱を設置しており定例会議で報告し改善している。職員へは申し送りノートを活用し周知されている。家族との忘年会を開催しており、意見を言える機会を作っている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を築くためユニット間の異動は1回に1～2名を限度としている。異動後も利用者へのダメージを防ぐため毎朝の挨拶やユニット合同での体操を行っている。入職時は1月間日勤勤務し利用者の方と馴染みの関係が出来るように工夫されている。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用については、年齢や性別で採用の対象から排除しないようにしている。事業所内での裁縫や壁飾り付け等職員の特技を発揮し、研修への参加も出来るよう配慮されている。休暇の希望も取りやすく、管理者はリフレッシュ休暇の検討をしている。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権の研修に関して、同一法人と合同の身体拘束委員会にて開催し職員は出席している。法人代表による人権についての講話を同一法人との定例会議や朝礼時に行い、管理者及び職員は人権教育、啓発活動に取り組んでいる。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員へは入職時より1週間新人研修を行っている。管理者は職員へ外部研修の希望を募り、研修抜いで参加できるよう調整されている。研修に参加し習得した事をホーム内で伝達講習を行い、情報の共有に努めている。マニュアルフローシート(介護手順)を作成し、学習会開催時や毎朝の朝礼時に読みあげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>広域連合のグループホーム協議会、県高齢者協議会へ定期的に参加し他事業所との事例検討、情報交換を行っている。他施設見学を通じてサービスの質の向上させていく取り組みをしている。</p>		
<p>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前には管理者、介護支援専門員が自宅や入院先を訪問し生活状況等の情報収集を行っている。利用者、家族はホームの見学を行ない、食事をともに過ごす利用をされている。やむを得ず、すぐに利用になった場合は家族へ面会や電話をお願いし、本人が安心して利用できるよう工夫されている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と共に、食事の準備をしながら郷土料理を学び、利用者から昔の歌や植物の名前を教えてもらっている。利用者の得意分野を引き出せるよう馴染みの関係を作り、常に支えあう関係を築いている。</p>		
<p>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>面会時に、本人・家族の意向を聞き取りアセスメントしている。把握が困難な方は、家族から意向を確認すると共に利用者の表情などから汲み取るようにしている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントによる課題分析を行い介護支援専門員が原案を作成している。日々の暮らしを介護職員から聞いたり、かかりつけ医の往診の時に医療面での意見を求めたり、併設の老人保健施設の理学療法士等のアドバイスも踏まえながら作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月モニタリングを行いケアプランの実施状況を確認しているが、3ヶ月毎の見直しが出来ていない。</p>	○	<p>継続的な介護計画の見直しや、利用者・家族の要望、状態に変化が生じた場合には、その都度見直しを行い新たな介護計画を作成していただきたい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が遠方の方や仕事で支援できない方へは、受診の支援行なっている。家族が宿泊を希望される場合は、寝具を準備し利用者の居室で泊まっていたり、併設の老人保健施設と医療連携体制をはかっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望に応じた受診の支援を行っている。週1回のかかりつけ医の往診にて健康管理を行なっている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に、重度化や終末期のあり方について確認している。本人、家族、かかりつけ医と繰り返し話し合いの場を設けている。看取りの体制は出来ているが、事業主体が病院なので最後は病院を選ばれることが多い。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に入る際の声かけ、さりげないトイレ誘導、居室の氏名も本人・家族の同意がない方は掲示していないなど、細やかな配慮がなされている。個人情報に関しては、利用目的や利用内容を本人・家族に説明・同意を得ている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	長年過ごしてこられた生活があり、起床・就寝、食事、入浴、レクリエーション等本人の意向や体調を考慮し日々楽しく過ごしていただけるように支援している。一人の利用者が、昼食時に早く食事を済ませたトイレへ行かれた。職員は、本人のペースを大切にそっと寄り添い介助されている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各ユニットごとに菜園があり、キュウリ・トマト・青しそ・かぼちゃなどが植えられ食卓を彩る。職員は、介助の必要な方の隣に座り必要な介助を行う。職員も同じテーブルで同じ食事を食べることで利用者との会話も弾んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間・回数などは、利用者の希望に副うよう支援している。ユニットにより個浴や銭湯感覚で入れる大き目の風呂があり、希望する風呂に入ることが出来る。ゆず湯や手軽に利用できる市販の入浴剤などで入浴を楽しむ工夫をしている。拒否される方は、無理強いせず清拭等に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	近くの商店から届けられた食材の仕分けや食事の下ごしらえ、らっきよや梅干を一緒に漬ける、料理や繕い物を教えてもらうなど得意な分野を發揮できるように支援している。また、洗濯物を職員と一緒にたたむなど、利用者は自分の役割を実感されている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	広々とした敷地に芝生が植えられ、遊歩道が整備されている。天気の良い日には、敷地内の散歩を行なっている。誕生日に、誕生者の為だけの個別の外出や馴染みの場所、いきつけの店などへの外出計画はあるが、ホーム専用の車がなく利用者の希望に副う外出が出来ていない。	○	利用者が事業所の中だけで過ごすことなく、これまでの生活の継続として馴染みの場所、いきつけの店などへ日常的に外出ができるように支援していただきたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者は、鍵をかけることの弊害を理解し日中は常に開錠されている。各ユニットの出入り口に鈴などを下げて利用者の行動を把握している。徘徊者リストを作成し、併設の老人保健施設の職員にも協力を依頼している。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、消防署の立会いによる避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの指導が行われている。運営推進会議や日々のかかわりを通して、近隣住民への協力を依頼しているが高齢者世帯が多く厳しい状況である。訓練ごとの計画書はあるが、マニュアルがない。	○	マニュアルを整備し、有事の際の避難経路や避難場所などを全職員が理解し、利用者・家族が安心して生活できるよう取り組んでいただきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者毎に食事量・水分量を記録している。併設の老人保健施設の栄養士が献立をチェックし、カロリーや塩分等の把握をしている。嚥下の悪い方には、キザミヤトロミを付ける等利用者の心身状況等に応じて食事を提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ユニットの出入り口には、季節感あふれる飾りや利用者の日々の生活の写真がさりげなく飾られている。ベンチやソファが準備され、天井の大きな扇風機がゆっくと回っている。不快な臭いなどもなく利用者がゆったりとくつろげる空間となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室のベッド、箆笥以外の必要物品は、すべて本人・家族が持ち込まれた物である。利用者の思い出の写真や作品が飾られている。生活習慣や身体状況に応じ、使い慣れたベッドを自宅から持ってきて畳を敷いたりされている。どの部屋からも豊かな自然が眺められ、いながらにして森林浴が体感できる心とむ居室となっている。</p>		